



平成18年9月20日  
 第20号  
 桑名市文化協会  
 桑名市中央町2丁目37  
 TEL 24-1361  
<http://bunkyo-kuwana.jp/>

# 文化協会の挑戦

桑名市文化協会 会長 加藤 武夫



先ず最初に計報で恐縮ですが、文化協会の初代会長の佐藤勤三氏が去る七月二十八日にお亡くなりになりました。氏は世界をまたに駆けて活躍された方で、協会の理事会での挨拶の時など実に豊富な話題で、宇宙の話から生物、科学、文化と多方面にわたって博学で、いろいろと学ばせていただきました。また、桑名の石取祭と花火大会をこよなく愛され、今年も楽しみにして見えたと聞きました。氏のご冥福を心からお祈りいたします。

ところで、私たちの文化協会は今年初めて韓国で「桑名市文化祭—N馬山」を開催しました。大正琴、箏曲、そして日本舞踊の三部門の出演で実施して参りました。初日はあいにくの雨のため百貨店のホールで、二日目は晴天で、オープンステージでの公演でした。

これまで十四年間、演劇の交流をきっかけとして、日本舞踊、合唱、美術、茶道、邦楽等個別の交流はありましたが、三部門が一緒に交流というのは初めての事でした。

来年も是非出演をと招待を受けております。ステージ文化だけでなく、茶華道や美術の展覧会等も一緒に参加し、「桑名市文化祭—N馬山」を

実現したいと思っています。

また、文化協会のロゴマークも完成しました。六華苑・番蔵棟の活用によるギャラリーの開催も、桑名市文化課・文化スポーツ振興公社の協力をいただき、展示部門には朗報でした。桑名文教懇親会の成功に見られるように、分野を超えた交流も少しずつではありますが進行しています。来年は私たちの活動の拠点である市民会館がリニューアルオープンします。ますますの活動施設の充実がかないます。四日市、東員町等周辺の文化協会との交流も一層進んでいます。

一方、せっかく長島町、多度町の合併で大きな桑名市になったにもかかわらず、文化団体の合流にはまだ時間がかかりそうです。会員の増加ばかりが目的ではありませんが、数は力です。高齢のために退会をされる会員、団体も生まれています。それを超える会員の獲得に努力したいと思っています。

文化協会は市民の団体です。市民のバックアップを受けて、市民とともに歩む協会でありたいと思います。が、まだまだよちよち歩きというところでしょうか。今後とも新しいことにどんどん挑戦していきたいと思っています。会員の皆さんそして市民の皆さんの御協力をお願いいたします。



## ご冥福をお祈り申し上げます

### — 佐藤勤三氏ご逝去 —

佐藤勤三元文化協会会長が、今年七月にご逝去されました。平成五年の桑名市文化協会創立以来、平成十年にいたるまで初代会長として、六年間文化協会の発展と芸術文化の振興のために邁進してこられました。

第一号の桑名文協でのご挨拶の中で「文化を持つということはお金や地位を持つことよりさらに豊かな世界を手につくことだと思えます。」と書かれています。この言葉から、潤いのある社会の実現にむけて、文化協会が大きな役割を担っているということをお祈りいたします。

数々のご尽力に深く感謝するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

# 第15回 桑名市民芸術文化祭

～水と緑と歴史が育む街・桑名～



2006年10月22日▶12月3日  
2007年1月20日・21日

■会場／六華苑・コミュニティプラザ・くわなメディアライヴ  
■主催／桑名市・桑名市教育委員会・桑名市文化協会

日 時	催し物・開催場所等
11/3(金) 10時～15時30分	茶 道 六華苑 一の間・芝生庭園
11/3(金) 10時～15時30分	香 道 六華苑 二の間・離れ屋・高須御殿
11/4(土)～11/5(日) 4日 9時～17時(9時開場) 5日 9時～15時(9時開場)	趣味教養祭 くわなメディアライヴ1階 多目的ホール
11/11(土)～11/12(日) 11日 13時～17時 12日 9時～17時	小倉百人一首かるた競技 六華苑 一の間
11/12(日) 10時～17時 (9時30分 開場)	吟剣詩舞道の祭典 桑名市大山田 コミュニティプラザ文化ホール
11/19(日) 13時～17時 (12時30分 開場)	Welcome Kuwana Dance Space 桑名市大山田 コミュニティプラザ文化ホール
11/23(木)～11/26(日) 23日 12時～18時 (12時 開場) 24日 9時～18時 25日 (9時 開場) 26日 9時～17時 (9時 開場)	美術部門展  くわなメディアライヴ1階 多目的ホール
12/2(木)～12/3(日) 2日 19時 (18時30分 開場) 3日 13時30分 (13時 開場)	演劇の祭典 「灯りは消えず 一定時制高校の青春」 桑名市大山田 コミュニティプラザ文化ホール

## 桑名市民芸術文化祭 プログラム

日 時	催し物・開催場所等
10/22(日) 13時～19時 (12時30分開場)	2006 音楽のフルコース 桑名市大山田 コミュニティプラザ文化ホール
10/28(土)～10/29(日) 28日 9時～17時(9時開場) 29日 9時～15時(9時開場)	趣味教養祭 くわなメディアライヴ1階 多目的ホール
10/28(土)～10/29(日) 28日 13時～16時 (12時30分開場) 29日 10時～16時 (9時30分開場)	芸能の祭典 桑名市大山田 コミュニティプラザ文化ホール
11/2(木)～11/3(金) 10時～16時	華道展 六華苑 洋館・会議室・番蔵棟

## 協賛事業

日 時	催し物・開催場所等
10/8(日) 14時～ (13時30分開場)	シャンテ・クレール 第18回定期演奏会 川越町あいあいホール
平成19年1月28日(日) 10時～15時	茶道遠州会三重支部 初春茶会 六華苑

# 市民芸術文化祭 へのお誘い

## 歌謡曲を現代三味線で

芸能I部門

渡邊 法子  
(現代三味線)

芸能I部門は30余団体で構成され、各部門には実力ある師匠が存在され日夜たゆまぬ稽古にはげまれております。私は現代三味線ですが、主として歌謡曲を演奏致します。この頃はカラオケの人達から伴奏を頼まれ弾く事がふえて来ました。三味線で唄うことが目新しいようです。昨年もプロになってレコードを出されている方達からの依頼で四日市文化会館第一ホールで演奏してカラオケ大会を盛り上げて来ました。今年も十月八日あさけプラザ、十一月十二日四日市文化会館第一ホールで弾く事になり、歌手とリハーサルをくり返しております。演歌を弾くのはむずかしい所もある反面楽しくもあります。三味線は童謡、演歌、民謡、色々演奏出来ます。皆様も是非習って下さい。今年も桑名市民会館改築の為、市民芸術文化祭の祭典は十月二十八日と二十九日コミュニティプラザで開催致します。是非御来場下さい。



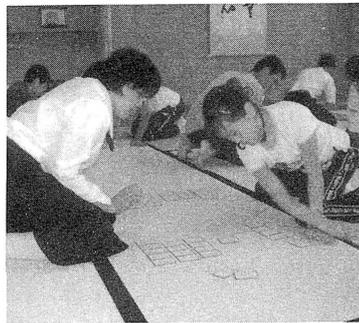
## 百人一首かるた競技

趣味教養部門

加藤 誠  
(桑名若菜会)

日本人なら誰でも知っている小倉百人一首ですが、競技かるたとなるとなかなか目に触れる機会がないものと思います。

最近では中学生が女流日本一になったことが朝日新聞の「天声人語」に取り上げられ、一瞬スピードを競うスポーツ性やゲームとしての面白さが話題になっています。



競技かるたの醍醐味の一端に触れていただけのように、十一月十二日(日)に、会員による公開練習会を六華苑にて開催します。

競技かるたを始めようと思う方、一度プロのスピードを見てみようと思う方、その他興味ある方には是非、足を運んでいただきますようお願いいたします。

## 音楽のフルコースは いかが？

音楽部門 安田 哲也  
(個人会員)

日時：10月22日(日)13時

今年で15回目となる桑名市民芸術文化祭。私たち音楽部門といたしましても全会員で力を合わせて『音楽のフルコース』をコミュニティプラザで開催いたします。

毎年ご来場の皆様からもご好評いただいております。恒例となっておりますこのイベント。今年も新会員の演奏もあり、全6団体の出演です。乞う御期待！

毎年様々なジャンルから音楽を愛する者同士が一堂に会し、一つのを創りあげておりますが、会場に来てこの素晴らしさを堪能してください。各出演者、この日のためだけのスペシャルプログラムをお届けいたしますので、普段の定期演奏会とはちょっと違った一面も見ていただけるのではないのでしょうか？

いろんな楽器を自由自在に操り奏でる音色に酔いしれてください。あなたの中に潜んでいる『音楽を楽しむ』感覚を目覚めさせてしまいかもかもしれません。私たちの素敵な音楽で癒されてください。

そして、私たちと一緒に、フルコースをいただきますよう♪

## 新春六華苑祭

文化祭担当 副会長 荒木 敏文

桑名市文化協会加盟団体による新春のイベントとして、三年目を迎えました。茶華道・洋楽・邦楽等を通じて、新春を寿ぎ、安らぎと潤いのある一日を過ごしていただける内容です。ご期待ください。



## ポスター入賞者表彰式

今年度の文化祭ポスター原画に、長島中部小学校5年生の伊藤徹さんが入賞され、去る8月9日に表彰式が行われました。佳作には、弟の優さんが選ばれ兄弟揃っての受賞となりました。

伊藤さんは、今までも「椿神社写生大会」で文部科学大臣賞、「水辺の風景画コンテスト」では農林水産大臣賞、「瀬戸内海の環境保全ポスター」では、環境大臣賞、「日韓国際児童フェスティバル」では韓国春川市長賞、そして「海洋の夢絵画コンテスト」では日本郵政公社総裁賞等々受賞総数は252回にものぼる実力の持ち主です。

今回のポスター原画は、今年度の文化祭テーマ「水と緑と歴史が育む街・桑名」にぴったりの緑を基調としたさわやかな作品です。

## 平成18年度桑名市文化協会育成補助金支援事業一覧

団体名	事業内容	開催期日
桑名美術クラブ	桑名美術クラブ30周年記念展	18.10.6~10.11
ちぎり絵サークル	ちぎり絵サークル20回記念展	18.10.20~10.25
全日本写真連盟桑名支部	全日本写真連盟桑名支部創立50周年記念写真展	18.9.21~9.24
大河内 浩	赤須賀神明社の石取祭企画展	18.7.6~8.29
藍華の会	藍の華	18.5.3~5.5
トーンポップスオーケストラ	第12回トーンポップスコンサート	18.10.1
桑名吹奏楽団	第33回定期演奏会	18.9.3
日本アマチュア将棋連盟くわな	桑名市長杯争奪桑名市囲碁将棋大会	18.6.25
桑名弦楽合奏団	桑名弦楽合奏団第21回定期演奏会(モーツァルト生誕250年記念)	18.11.12

## 桑名弦楽合奏団 第21回定期演奏会 「生でうす!?モーツァルト!」

桑名弦楽合奏団  
勝野 弘志

桑名弦楽合奏団第21回定期演奏会を平成18年11月12日(日)午後2時より東員町総合文化センター1ひばりホールにて、桑名市文化協会の助成のもと開催させていただきます。この定

期演奏会は当団設立以来毎年定期的に行っているメインの活動で、地域に密着した音楽活動の一環として広く一般の皆様に弦楽オーケストラによる演奏を楽しんでいただこうとするものです。

今回の演奏会はモーツァルト生誕250年を記念し、管楽器の客演奏者を招いての「交響曲」、弦楽合奏のみによる「デイベルテイメント」、ヴァイオリン独奏を交えた「ヴァイオリン協奏曲」など、モーツァルトのいろいろな形態の作品を取り上げて紹介いたします。巷ではこの生誕250年にちなんで「モーツァルト特集」が数多く演奏されています。

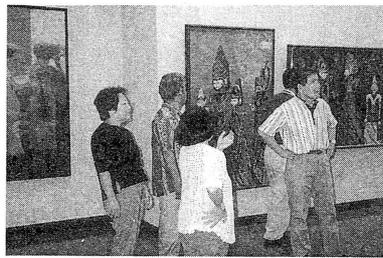


で、今回の演奏会では皆様に楽しく聴いて頂けるように司会者を立て、曲の解説のみならずモーツァルトにまつわる様々なエピソードなどを紹介しながら演奏をいたします。皆様のご来場、心よりお待ちしております。

## 桑名美術クラブ 三十周年記念展について

桑名美術クラブ  
安田 隆亮

桑名美術クラブは一九七六年に発足して、今年で三十周年を迎えます。五年ごとに記念展を開催してまいりました。三十周年は、大きな区切りです。桑名市文化協会育成補助金助成事業として記念展を今秋十月六日より十一日まで(十日は休館)、メディアライヴにて開催致します。



三十年前、桑名美術クラブが発足した当時は、まだまだ文化活動もそれほど盛んでなく、プロの洋画家、学校の先生を中心にスタートした訳ですが、三十年の間には、大きな波、小さな波、幾多の波をかいくぐりながら、ここまで継続してまいりました。これも今は亡き諸先輩、OBの人達、また現会員の努力のお陰とっております。これからもこの三十周年の伝統を守り、また将来へ向けての転機として桑名の文化活動の活性化に微力ながら頑張っていきたいと思っております。

## 出演(展)団体を募集します

### 第9回スプリング・フェスタ

今年で9回目を迎えるスプリングフェスタですが、現在6団体が希望されています。まだまだ余裕がありますので、文化協会を中心に募集したいと思えます。皆様、この機会に楽しく交流しませんか。

日時 平成19年2月24・25日  
会場 桑名シティホテル

大・中ホール

- ・対象 当協会加盟団体及び市内で活動している文化団体
- ・受付期間 平成18年10月15日まで  
に所定の用紙で当協会(文化課)に申し込む。
- ・会費 一団体一万円。申込と同時を支払う。

☆運営は、出演(展)団体の代表者若干名を加えた実行委員会にて行います。



# 20回記念展を

## 迎えるに当って

ちぎり絵サークル

藤田 勝代

ちぎり絵サークルは、紙画研究会代表の斎藤世津子先生を講師に、昭和五十七年中央公民館が完成した年に発足しました。三年後、第一回サークル展を、桑名市博物館で開催することが出来、その後、毎年開催しています。また、文化協会美術部門展、中央公民館文化祭にも毎年出品しています。今年、二十回記念展ということで、文化協会より助成金が頂けることになり、桑名メディアライヴで、十月二十日から二十五日（二十四日は休館）まで開催する運びとなりました。

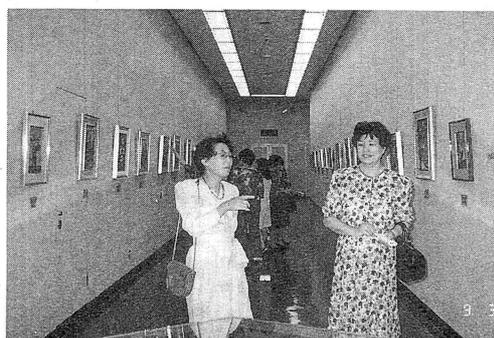
現在三十八名の会員です。最年長九十二才の方を始め、八十年代、七十代と高齢の方も多いのですが、年齢を感じさせない若さと活躍ぶりには頭が下がる思いで一杯です。今回は、特に二十回展ということで、会員全員が一丸となって、日々作品の創作に意欲を燃やしています。「生涯現役」で頑張っ

います。無事二十回記念展が終えられますようお願いしています。

是非

多数の方々に御来場頂きまして、

辛口の御批評を頂ければ光栄です。



# 創立五十周年に想う

全日本写真連盟桑名支部

山田 輝之

全日本写真連盟桑名支部は昭和三十一年十月一日、立坂神社で発会式を行い、最年長は四十才過ぎ、若くは二十才前後が幾人かいた、若さあふれるスタートでした。

月例写真研究会は、会場を魚屋さんの二階で始め、新聞販売店、地区集会所、神社社務所、中央公民館と替わりましたが、五十年間一度も休むことなく続けています。

会員の活動を知らせる会報も毎月発行し、今年の七月号は「六百

# 「桑名市文化協会」ロゴマークが決まりました

桑名市文化協会ロゴマーク募集にご応募いただき、ありがとうございました。五月の総会で選考会を行い、応募総数六十五点の中から最優秀賞一点、優秀賞五点が選ばれました。現在、理事会にてロゴマーク使用規定を検討中です。



桑名市文化協会  
最優秀賞作

【最優秀賞】

兵庫県神戸市

杜多 利香さん

【優秀賞】

東京都町田市

彦根 正さん

三重県桑名市

谷古 正樹さん

三重県四日市市

矢島 正浩さん

千葉県柏市

佐藤 秀人さん

三重県四日市市

森 次男さん

号目の支部報」となりました。

支部写真展では、桑名を題材にした写真展を続け、創立五十周年記念写真展を九月二十一日から九月二十四日まで、くわなメディアライヴで行います。

今回の作品も桑名を被写体に、撮影からプリントまで会員の一致協力による成果であり、桑名支部の発展の為に、決して絶やしてはならない良き伝統です。



# 桑名ええとこ再発見

社会文化部門

大河内 浩

(個人会員)

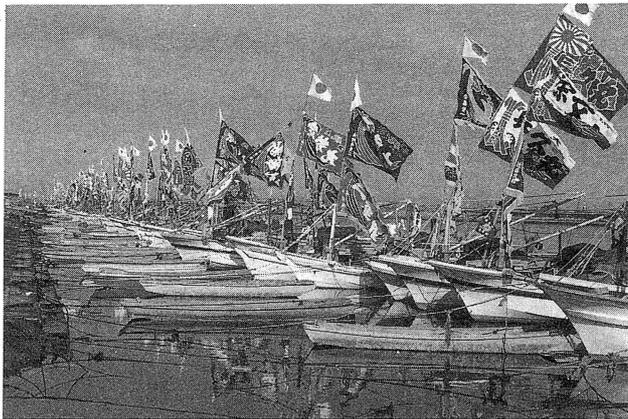
## 城東地区赤須賀

赤須賀は桑名市東部の揖斐川沿いにある漁業の町で、中央部に小さな船溜まりの漁港があるだけなので、揖斐川右岸にぎっしりと漁船が繫留され、正月に色鮮やかな大漁旗が掲げられる光景は広報紙などでしばしば紹介されてきました。室町時代に三河国市場村(現在の愛知県幸田町)から渡来した士族が、現在の元赤須賀の地に住んで漁業を営んだのが始まりで、江戸時代になって桑名城整備で赤須賀新田が開発されるなど、その後の街区は二転三転しましたが、

端に赤須賀神明社があり、毎年八月には桑名春日神社と並んで石取祭が行われることで有名です。近年防災についての意識が高まる中、堤防の補強工事とともに、公民館・漁業組合・物産販売所などの複合施設(仮称 漁業体験学習館)の計画も進められており、この地区のこれからの町づくりが期待されます。

狩師町赤須賀、俗に城東と呼ばれてきました。

現在では貝類を採取する漁業が主体ですが、以前は冬季には多くの漁家で海苔養殖が行われたり、大正時代には伊勢湾漁業の花形と呼ばれた打瀬網漁船が活躍するなど多くの漁法が営まれました。北



赤須賀港

## 平成18年度新入会員

○大竹 由夏

(音楽・フルート奏者)

○琴きさらら

代表 堀 芙美

### 桑名市文化協会への入会方法

桑名市文化協会は、広く市民の文化活動ならびに文化事業の振興と連帯感の育成を図り、もって市民の豊かな文化の創造と発展ならびに豊かな地域社会づくりに寄与することを目的に活動しております。

この目的に賛同し、桑名市文化協会に入会していただける方を募集しています。個人会員も大歓迎です。

桑名市文化協会については、ホームページに活動団体や文化協会規約等を紹介しております。

(<http://bunkyo-kuwana.jp/>)

入会するには、事務局(教育委員会文化課内)にある入会申込書に必要事項を記入し、ご提出ください。理事会の承認を得て入会となります。

## 編集後記

梅雨明けも例年より遅くじめじめした中での編集会議、新しい委員も加わり、まず始めに事務局より文協ホームページについて説明を聞きました。続いて20号発行に向けて掲載内容を検討し、今秋の市民芸術文化祭での部門紹介及び各部の活動成果、内容等、盛り沢山になるよう努力しました。

一人でも多くの方々に関心を持っていただき、水と緑と歴史が育む新しい桑名の芸術文化が大いに広がっていくことを一同祈念しております。

(谷口)

広報担当副会長	森 一蔵
委員 文学部門	兵後 則子
美術部門	山下 進
音楽部門	安田 哲也
芸能I部門	渡邊 法子
芸能II部門	谷口八洲江
芸能III部門	岡本 早苗
演劇部門	今枝 由佳
社会文化部門	大河内 浩
茶華香道部門	丹羽 宗俊
趣味教養部門	加藤 誠